

平成27年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第66回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会

第60回全国高等学校自転車道路競走中央大会

監督会議資料

2015 君が創る 近畿総体



風になれ今青春が走り出す

日 程：平成27年8月6日（木）～8月10日（月）

会 場：トラック：岸和田競輪場

ロ ー ド：鈴鹿サーキット

大阪府実行委員会

この資料は監督会議で使用しますのでご持参ください

平成27年度全国高等学校総合体育大会 大会特別規則

競技運営委員長 坂井田米治

総務委員長 中梶 秀則

審判長 馬場 秀朋

トラック・レース、ロード・レース共通事項

2015年(公財)日本自転車競技連盟規則、および大会特別規則で実施する。なお、高体連自転車競技専門部ホームページ (<http://www.hs-cycling.com/>) からダウンロードできる最新の競技規則解説を監督及び競技者は熟読しておくこと。また、下記事項に示された各場所については「参加案内」を参照すること。

関係者は常に健康に留意し、熱中症対策に心がけてください。

1. ライセンスコントロール（選手・監督受付）

(1) 日時 8月6日(木) 11:45~12:30 (男子・女子共通)

(2) 場所 岸和田競輪場 特別観覧席 2階 (参加案内P13参照)

(3) 要領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手ライセンスを持参し、必要があれば申請用紙を提出する。なお、ライセンスは確認後、速やかに返却する。

※身体形態上の理由により、規定にあわない自転車を使用する競技者は、ライセンスコントロール（選手・監督受付）時に申請用紙（所定の用紙）を学校単位で提出する。

ライセンスは配布されたIDカードケースに入れ、ロード、トラック会場では見えるように携行すること。

2. 記録の配信

(1) スタートリスト、リザルト等のコミュニケは記録速報板に掲示する。

(2) リザルトは、大会モバイルサイトに随時アップする。アドレス等の詳細はプログラムに掲載する。

3. ヘルメット

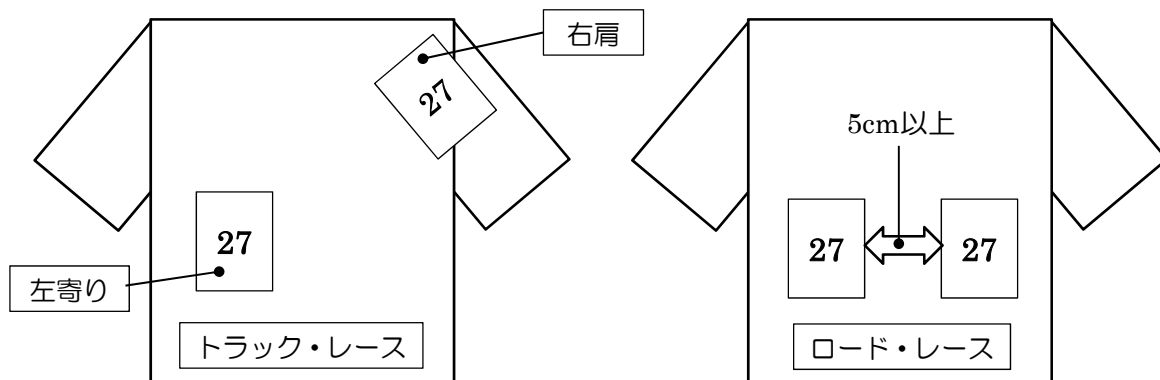
(1) 選手はJCF公認およびJKA認定（競輪用）ヘルメットを練習時も使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット、劣化・破損が確認されたヘルメットの使用は認めない。

(2) JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は、下記の種目の競技時のみ使用を認める。

スプリント予選（200mTT）、1kmTT、500mTT、3kmIP
4kmチーム・パーシュート、チーム・スプリント

4. ゼッケン

- (1) ボディ・ナンバー（男子：白色布地に黒数字・女子：桃色布地に黒数字）は下図を参考にし、安全ピンで取りつける。（1枚の場合は腰部中央に）
- (2) ロード・レースは、下図を参考にし、ボディ・ナンバー（シード選手：黄色布地に赤数字）を2枚取りつける。（方向に注意）
フレーム・プレートは右側から確認しやすいようにヘッドチューブまたはサドル下に取りつける。
ヘルメット・ナンバーシールは右側に1枚貼りつける。



トラック・レース

1. 遵守事項

- (1) 走路の入場の際は、練習・競技時共に必ずライセンスを入れたIDカードを着用すること。
- (2) 競走種目における集団走行時のハンドルの持ち替え行為禁止。
- (3) バンク内にはサンダル等での入場禁止。
- (4) 走路保護のため、アップオイル等の使用禁止。
- (5) レーサーシューズでの走路の歩行禁止。
- (6) 特別観覧席1階総合案内所前広場での選手ピット設営禁止。
- (7) 競輪場内の電源コンセントの使用禁止。

2. 走路入退場方法

- (1) 入退場とも検車場から地下通路を使用すること。

3. 招集・自転車検査

- (1) 招集・自転車検査所は検車場内に設置し、出走確認、装備・自転車検査を実施する。
- (2) 招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までとする。
- (3) チーム・パーシュート、チーム・スプリントへ出場する学校は、出走日の8:30までに招集所に出走するメンバーを届け出ること。
- (4) ブリヂストン製PCPT=TTタイプについては使用を認めるので、申請を行わなくてよい。
- (5) 自転車検査を受けた後は速やかにバンクへ入場すること。

4. ウォーミングアップ

- (1) バンク内では指定されたテント内で行うこと。
- (2) ローラー台は原則として各校で準備すること。
- (3) オフィシャルのローラー台は25台準備しているが、その使用についてはアップ優先とする。
- (4) 限られたスペースであるので、専有せずに譲り合って使用すること。

5. ヘルメット・カバー使用種目

4 km速度競走、ポイント・レース、スクラッチ、ケイリン

6. レース前の確認と諸注意

スプリント、4 km速度競走、ポイント・レース、スクラッチ、ケイリンに出場する選手は、招集・自転車検査後に集団での安全走行に関する規則の確認と留意点についての説明を受けることを義務づける。場所は監督会議で指示をする。

7. スタート方法

(1) スタートリング・マシーン使用種目

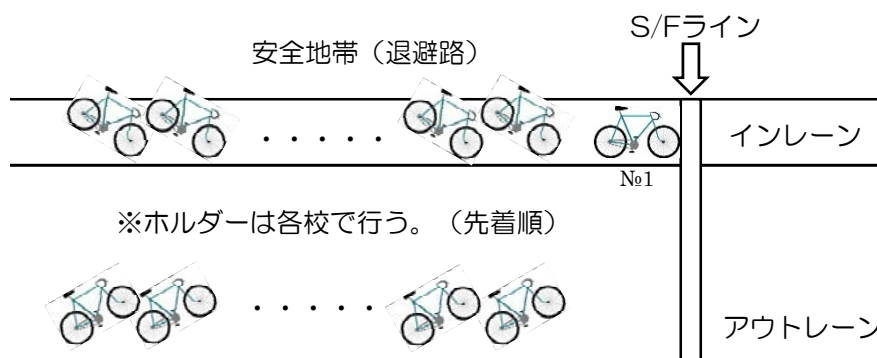
1 kmTT、500mTT、3kmIP、4kmチーム・パーシュート及びチーム・スプリントの第1走者
※なお1 kmTT、500mTTと3kmIPについてはカウントダウンは30秒とする。

(2) ホルダー

スプリント1/8決勝以降およびスクラッチ、ポイント・レースのホルダーは各校で行い、その他の種目は発走役員が行う。ホルダーを準備できない場合は発走役員に申し出ること。

(3) ポイント・レースおよびスクラッチ

スタート位置は次の図を参考にする。選手は安全地帯（退避路）で乗車し、各校のホルダーに支えられた状態で発走員の指示により先着順でスタート位置に着く。スタートリストの前半選手がインレーン側、後半の選手がアウトレーン側とし、ヘルメット・カバーがNo1の選手は、インレーンの先頭からスタートする。1周回の競技外周回の後、フライングスタートにより競技を開始する。



8. ケイリン

- (1) ケイリンの周回数は5周回とし、残り600m（残り1.5周回のバックストレッチ付近）でペーサは離脱する。なお、離脱時のスピードは男子が50km/h、女子が45km/hとする。

9. パーシュート

- (1) 予選はタイムレースとして実施する。選手（チーム）が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し、追い抜きが完了するまで体制を保ち走行する。追走した場合は失格とする。
- (2) 予選ラウンドにおいては、追抜かれた選手（チーム）も完走する。

10. 勝ち上がり方法

(1) スプリント

予選200mTTにより、スプリントトーナメントに進出する12名の競技者を決定する。競技順は、1/8決勝、1/8決勝敗者復活戦、1/4決勝、1/2決勝、順位決定戦とする。

※1/4決勝より2回戦制とする。(5~8位決定戦は1回戦制)

(2) 4km速度競走

予選各組(組数5)より上位4名を選出し、準決勝(2組)を行う。準決勝は各組上位5名を選出し、決勝(10名)を行う。

(3) ポイント・レース(男子:予選16km、決勝24km 女子:決勝12km)

男子:予選各組(組数2)より上位10名を選出し、決勝(20名)を行う。

女子:予選は行わず、決勝戦のみ(17名)を行う。

(4) ケイリン

男子:1回戦(組数8)より上位2名を2回戦に選出する。1回戦の敗者により敗者復活戦(組数6)を行い、上位2名を2回戦に選出する。2回戦(組数4)より上位3名を準決勝へ選出する。準決勝(組数2)より上位3名を決勝へ、下位3名を7~12位決定戦へ選出し、1位から8位までの入賞者を決定する。

女子:1回戦(組数2)より上位3名を決勝へ、下位3名を7~12位決定戦へ選出する。

(5) スクラッチ(男子:予選6km、決勝8km 女子:決勝6km)

男子:予選各組(組数3)より上位6名を選出し、決勝(18名)を行う。

女子:予選は行わず、決勝戦のみ(19名)を行う。

11. ギア比

(1) 全選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリー(7.93m)を適用する。

(2) ギア比チェックは、上位入賞者およびランダムに選出された対象者に対し実施する。競技終了後のギア比チェックはバンク内ホーム側で行う。対象者がチェックを受けなかった場合は失格となる。

12. バンク内での指示

バンク内からの指示はできない。ただし、パーシュート種目、タイムトライアル種目、チーム・スプリントについては、1コーナーと3コーナーにある審判塔付近で指示することを認める。

(各校1名)

13. 種目別表彰

表彰は、開会式会場ステージにおいて実施する。対象競技者は、指定された時間の15分前までに登録されたユニフォーム着用で、集合すること。

団体種目の1位~3位は出走者全員、4位~8位は代表者1名が参加すること。

14. その他

(1) 4kmチーム・パーシュートにおいて、全国高校総体出場権を獲得以降にアクシデントによって、4名の競技者で出走ができない場合は、総務委員長に申請し3名での出走許可を得ること。

(2) ホーム、バックからの同時スタート種目では、欠場があっても発走組は変更しない。

ただし、欠場が多数でた場合はこの限りではない。

ロード・レース

1. 予備選手への変更

所定の用紙で総務委員長へ申請すること（補欠選手への変更は認められない。）

- (1) 受付日時 8月9日（日）13：00～14：00
- (2) 受付場所 特別観覧席2階 大会本部（参加案内参照）

2. 時 程 8月10日（月）

- 開 門 6：00
- 招集・自転車検査 6：30～7：30
- 試走時間帯 7：00～8：10（8時までに試走を開始すること）
- 一般選手集合 8：20～
- シード選手紹介 8：28～（地元選手紹介を含む）
- 名誉スタータ紹介 8：33
- ス タ ー ト 8：40

3. 招集・自転車検査

- (1) 招集・自転車検査等は下記のとおりとし、出走確認、装備・自転車検査を実施する。

場 所 鈴鹿サーキット ピットビル1階 競技本部

内 容 自転車、ゼッケン、フレーム・プレート、ヘルメット、ユニフォーム、計測チップの検査を受け、サインシートに記入する。

ギア比チェックは上位完走者にゴール後実施する。（8. ギア比参照）

- (2) 自転車検査を受けた後のポジション変更や調整はしないこと。

4. スタート位置

前年度入賞者および選抜大会入賞者はシード選手として最前列に位置する。その後ろに開催地選手（大阪府）、その他の選手は3列目以降先着順とする。

【シード選手】

中村圭佑（東京・昭和一学園）、石上優大（神奈川・横浜）、日野竜嘉（愛媛・松山聖陵）

徳田 匠（京都・北桑田）、今村駿介（福岡・祐誠）、奥村十夢（奈良・榛生昇陽）

黒川晴智（岡山・東岡山工） 以上7名

5. 補給所

下記の要領で各校からの選手への補給を認める。（オフィシャル給水は設置していない）

- (1) 補給エリア ピットロード入り口付近からシケインまでの左コーナーの左側のみ認める。
補給エリアの始点および終点は看板により明示する。（参加案内参照）
- (2) 補 給 員 補給員IDを着用したもののみ認める。
補給員IDは受付時に配布する。（各校1枚・2名以上出場校2枚）
- (3) 補 給 周 回 6周回目から15周回目までとする。
- (4) 補給員移動 補給エリアへはピットから歩いて移動すること。
コースの横断は厳禁する。
- (5) 投棄エリア 補給エリアの手前左側に設定している。

6. 関門所

- (1) スタート／フィニッシュ地点に1箇所関門所を設置する。
- (2) タイムアウト
毎周回（最終周を含む）8位の選手を含む集団から5分遅れた選手をタイムアウトとする。
ただし、レースの状況により、相当時間の遅れが見込まれる選手も同様とする。
タイムアウトとなった選手は、ボディ・ナンバー1枚、計測チップを外し、審判員に渡す。

7. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラル・カー3台、ニュートラルバイク1台、インフォメーション・バイク2台。
- (2) リアギアはシマノ製10段と11段を準備している。
- (3) 計測チップ配布時にリアギアの申告（10段／11段）をすること。
- (4) チームスタッフからの機材補給は認めない。
- (5) 提供を受けた機材の返却は、レース終了後直ちに競技本部へ返却する。

8. ギア比

- (1) 全選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリー（7.93m）を適用する。
- (2) フィニッシュした選手は、関門所付近のピットロードにてギア比チェックを受けること。
上位20位程度を対象者とし、チェックを受けなかった場合は失格となる。

9. 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 8月8日（土）9：00～11：00
- (2) 配付場所 特別観覧席1階 総合案内前
- (3) 返却日時 8月10日（月）レース終了後
- (4) 返却場所 関門所役員テント
- (5) その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費請求することがある。

10. 表彰式・閉会式

- (1) 開始予定時刻 12：15
- (2) 会場 ピットビル2階 プリーフィングルーム
- (3) 入賞選手、入賞校は、表彰式の15分前には会場に集合すること。
- (4) 入賞者は、登録されたユニフォームを着用し、式典にふさわしい容姿で参加すること。
ただし、座席で待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。
（レーサーシューズ、サンダル、サングラスの着用禁止）
- (5) ロード総合優勝校は2名、2位以下は代表1名が出席すること。
- (6) 学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。

11. その他

- (1) 選手・監督の車両は、ピットビル前も駐車可能である。（参加案内参照）
- (2) 監督・選手の観戦場所はピットロード及び保護者観戦場所となる。
補給所より西側及びピットビルより東側のコース内には立ち入らないこと。
- (3) 保護者観戦場所は、ピットビル3階（競技本部側）及び2階ホスピタリティラウンジ（11室）
※ホスピタリティラウンジは空調完備されている。